

ウミガメを間近で観察



池や水の中を泳ぐウミガメたち。ひょうきんな表情に子どもは大喜び。

久米島の東、奥武島にある「久米島ウミガメ館」は、絶滅の危機にあるウミガメの展示・研究施設。大水槽の中を悠々と泳ぐカメを間近で見ることができ。館内では、昨年生まれた85頭を含め100頭以上のウミガメを飼育中。そのなかには屋内につくられた産卵場（人口の砂浜）で孵化したアオウミガメもいる。屋内施設での孵化成功は世界で初めてのことだ。また、ロビーに展示されている「久米島の貝」の標本も子どもに興味をそそる。

●久米島ウミガメ館
ゴールデンウィーク中や夏休み期間中の日曜に「親子ウミガメ教室&体験放流」(有料)を実施している。

詳細は問い合わせを。

☎098-985-7513

※9～17時 休火曜

入館料 大人300円、小・中・高中生200円

久米島ウミガメ館のロビーに展示された「久米島の貝」の大部分。「はての浜」で捕った貝の名前も調べられる。



るな、娘。
「次は白！」
白？ 白い花なんて咲いてないし、白い服を着ている人もいないし……。
「白、ありますよ。上を見てください」
あったー！ 白い白い雲だ。ああ、この遊び、いいな。東京に帰ってもやってみようという心のメモに書き記している母だった。
「ねえ、かわのなかにもおさかなさんいるかな」
娘の興味は、すでに川のせせらぎの中。
「あー、みて、カニがいる」
「ホント？ どことどこ？」
「水気で見つけられない母。と、そのとき、石と同じ色をしたサワガニがわずかに体を横にすらした。」
「あそこ。石の横」
「どこよー」

ホタル館の横を流れる運浦川。エビとりができたりと、川遊びにも恰好の場所だ。海からオオウナギが上ってくることもあるとか。



「ちゃんぐる2」のTシャツの柄は、オーナー・中村行雄さんの奥さまのオリジナル。ユーモラスで可愛いシャツは、親子おそろいで着るのにぴったり。星形のガラス瓶には小さな貝をいっしょに詰めた。

オリジナルTシャツに、かわいい星形ガラス瓶

お土産選びにはイーフビーチ近くにある「ちゃんぐる2」へ。オリジナルTシャツと手作りアクセサリーの店だ。星形のガラス瓶は、ビーチで拾った小さな貝殻を入れるのにぴったり。ちっちゃくてかわいいお土産になる。お隣は昨年オープンしたカフェで、おいしいタコスがいただける。テイクアウトしてビーチで食べたい。

●ちゃんぐる2

☎098-985-7444

※11～14時、17～20時 休なし



次は、ホタルが光るところを見に来たい！

●久米島ホタル館

☎098-896-7100

※9時30分～16時30分

休火曜

入館料 大人100円、子ども50円

●ネイチャーゲーム・ミニ

料金 1ゲーム(約15分)親子ペア(3名まで)で500円。詳細はホームページ参照。

<http://www.kume-hotaru.com/>

<http://www.blue-bambi.com/hotaru/>

「いたー！」
「おそいよ、おかあさん」
「大人のほうが、見えてないところが多いんですよ」
この言葉、深いわ。身に染みます。